

25年度補正

ものづくり
技術

とみやま

富山薬品工業株式会社



ディーゼルエンジン車 排ガス対策薬剤『高品位尿素水』製造設備の建設



アドブルー出荷風景

生産拠点が離れていることにより、南九州地区ユーザーに不利益な供給体制だった

自動車等の排気ガスには、大気汚染の原因物質である窒素酸化物が含まれている。4ト以上のディーゼルエンジン車の新車はこれを抑制することが義務付けられており、「尿素SCRシステム」を搭載することでその対策としている。そのシステムに必要な消耗品「高品位尿素水（アドブルー）」は、当時九州管内では福岡地区のみで生産されており、南九州地区は福岡及び海外から仕入れる必要があったため、消費者は不利益を被っていた。



アドブルーの原料

こんな会社です



代表取締役 富山大士

皆さまに快適な生活を送っていただくために！

当社は明治33年に創業し昭和22年に法人化を果たした、今年で121年目を迎える工業用薬品を扱う会社です。充実した設備を備え、製造から販売まで行っており、当業界において県内ではリーディングカンパニーになっております。工業用薬品を取扱うため、従業員が十分に研修を受けられる環境も整備しています。ものづくり補助金で設備を導入し、エコフレンドリーな製品を製造できるようになりました。これからも皆さまの快適な生活に不可欠な製品の製造・販売を通じて、地域経済に貢献できる企業となるよう努めてまいります。

南九州地区初の製造プラントを建設



製造風景

アドブルーの市場は今後6、7年で、現行の3、4倍に増加するとの予想があり、南九州地区での供給体制を整えることは急務であった。そこで本事業では「尿素SCRシステム」に必要な不可欠な消耗品「高品位尿素水（アドブルー）」を製造するプラントを南九州地区で初めて建設し、将来的な需要の増加にも対応できる供給体制を構築した。その結果、品質維持や納期、輸送コスト、関税など様々な課題が解決され、消費者にも地球にも優しい環境を提供できる体制が整った。

SCR搭載車の普及、拡大が進み、アドブルーの需要は増加傾向

製造は受託方式であり、南九州地区をターゲットに販売している。徹底した品質管理の下、競争力のある価格で提供することで、製造量、売上ともに、伸び続けている。売上が伸びた理由は、当社が想定していたとおりアドブルーが必要なSCR搭載車の普及・入替が進んでいる結果ではあるが、近年4ト以下の小型トラックやディーゼルエンジン乗用車もアドブルーが必要な仕様になってきていることも背景にある。



出荷設備

競争力のある価格で提供できるようプラントの増設を検討中



ろ過装置

今後もSCR車の普及、入れ替えは進むと予想されており、アドブルーの需要は自然と伸びることが期待できることから、将来の更なる需要の伸びに備え、製造設備の増設を検討している。増産体制を整えることで、今後SCR車の普及が頭打ちになり、需要の伸びが鈍化した場合でも、競争力のある価格でユーザーに提供できると考えている。顧客に選んでもらえる品質、供給体制、価格で高い優位性を維持し、今後も受注を伸ばしていきたい。

info

富山薬品工業株式会社
代表取締役 富山 大士

事業実施場所
〒891-0131
鹿児島市谷山港2-3-6
TEL 099-261-0766
FAX 099-262-2607
<https://www.tomiayamayakuhin.co.jp/>

設立 昭和22年4月
資本金額 300万円
従業員数 24名
業種 薬品卸売業



谷山港基地